

1. 実施機関

国立大学法人広島大学

2. 企画名

アジア拠点広島コンソーシアムによるG S C構想

3. 総合評価コメント

受講生の募集・一次選抜に関して、自己財源であるホップステージと上手く連携し、高校・連携機関・教育委員会等との緊密な体制の下、多くの生徒を集めていることが評価できる。また、ジャンプステージにおける課題研究の実施にあたり、少人数ラボ教育、4者研究チーム（受講生・指導教員・TA・高校教諭）による研究指導體制の推進についても評価できる。さらに、地域の企業、学術組織等との連携を活かした異分野融合の取組を進めていることも特徴的である。

しかしながら、アジア圏の高校や大学との協働に関しては、一部の取組は開始されているものの、当初計画していたセミナー開催や課題研究などが実施できておらず、「アジアの拠点」を目指した取組が進んでいない。また、数値目標に関しては、国際学会等での外国語による研究発表では実績が出ているものの、その他の目標については未達成の傾向にある。さらに、科学コンテストへの受講生の参加状況の把握についても課題が残る。よって、ジャンプステージにおける取組の強化及び研究成果の創出を期待するとともに、今後、目標の確実な達成に向けて、以下のような具体的な諸施策を実施していくことを求める。